

<IPA 情報発信第 133 号の内容>

I. 今月のトピックス

1. **バングラデシュ人民共和国 郵政通信情報技術省 ポラク副大臣の当機構理事長表敬訪問**

バングラデシュ人民共和国郵政通信情報技術省のジュナイド・アーメッド・ポラク ICT 担当副大臣は、5 月 14 日 (木) IPA を来訪し、藤江理事長と懇談を行いました。その中で、ポラク副大臣よりアジア共通統一試験の導入及び技術支援の取組みについて謝意が述べられると共に、継続的な協力について要請がありました。

これを受け、藤江理事長は、今後もバングラデシュにおける情報処理技術者試験制度の発展に向けて、引き続き協力をしていきたい旨を表明しました。

2. **「Embedded Technology West 2015 (ETWest 2015) /組込み総合技術展 関西」への出展 (開催案内)**

IPA は、事業成果普及のため、6 月 10 日 (水) 及び 6 月 11 日 (木) に開催される「Embedded Technology West 2015 (ETWest 2015) /組込み総合技術展 関西」に出展します。今回の全体のテーマは「IT→ICT→IoT で『人』と『モノ』をつなごう！」となっており IPA でもこのテーマにそって展示やセミナーを行います。

II. セキュリティセンター

1. 6 月の呼びかけ「パソコン内のファイルを人質にとるランサムウェアにご注意を！」を公開
2. 「情報セキュリティ EXPO[春]」へ出展
3. サイバー情報共有イニシアティブ (J-CSIP (ジェイシップ)) 2014 年度 活動レポートを公開
4. 重要なセキュリティ情報 (5 月)

III. ソフトウェア高信頼化センター (SEC)

1. 情報処理学会 情報規格調査会より「2014 年度 国際規格開発賞」を受賞
2. 「第 9 回要求シンポジウム」を共催
3. SEC セミナー開催報告 (5 月) および開催案内 (6 月)

IV. IT 人材育成

1. 「セキュリティ・ミニキャンプ in 新潟」を共催
2. 「応用情報技術者試験」午後試験における出題構成の見直しについて
3. 平成 27 年度春期情報処理技術者試験 (基本情報技術者試験) の合格発表について

I. 今月のトピックス

1. **Bangladesh 人民共和国 郵政通信情報技術省 ポラク副大臣の当機構理事長表敬訪問**

(担当理事(本部長): 田中、担当本部長補佐: 小川)

IPAは、Bangladesh 人民共和国における情報処理技術者試験の制度構築及び運営体制の整備について、JICA¹と協力し、試験の運用ノウハウの指導、試験問題の提供、問題作成ノウハウの技術移転などの支援を行っています。

5月14日、Bangladesh 人民共和国郵政通信情報技術省のジュナイド・アーメッド・ポラク ICT 担当副大臣は、IPA を来訪し、藤江理事長と懇談を行いました。

懇談では、ポラク副大臣より IPA からの Bangladesh 人民共和国に対するアジア共通統一試験の導入及び技術支援の取組みについて謝意が述べられました。また、昨年行われたシェイク・ハシナ首相と安倍晋三内閣総理大臣による首脳会談において、同国の IT 関連産業が発展していくことへの期待について両国首相の歓迎の意が表明されたことを踏まえ、継続的な協力について要請がありました。これを受け、藤江理事長は、今後も Bangladesh 人民共和国における情報処理技術者試験制度の発展に向けて、引き続き協力をしていきたい旨を表明しました。

IPA では、今後もアジア共通統一試験を通じて、Bangladesh 人民共和国をはじめアジア各国の IT 人材の育成・確保が進み、IT 関連産業が発展し、日本とアジア各国における IT 人材の流動性向上が図られることを期待しています。

Bangladesh 人民共和国 郵政通信情報技術省 ポラク副大臣の表敬訪問の詳細については、次の URL をご覧ください。

http://www.ipa.go.jp/about/press/20150514_2.html

2. **「Embedded Technology West 2015 (ETWest 2015) /組込み総合技術展 関西」への出展(開催案内)**

(担当理事(本部長): 立石、担当所長: 松本)

IPA は、事業成果普及のため、6月10日(水)及び6月11日(木)に開催される「Embedded Technology West 2015 (ETWest 2015) /組込み総合技術展 関西」に出展します。

ETWest 2015 は、一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)の主催による、日本の組込み業界をリードする企業などが多数参加し、製品・ソリューション展示やカンファレンスによって組込みシステム開発に関わる技術者や開発者に向けた情報発信を行うイベントです。

¹ JICA(Japan International Cooperation Agency): 独立行政法人国際協力機構

今回の全体のテーマは「IT→ICT→IoT で『人』と『モノ』をつなごう！」となり、IPA でもこのテーマについての展示やセミナーを行うとともに、IPA の事業成果の普及や最新技術動向について紹介します。出展ブースでは、「SEC 先端技術入門ゼミ」、「ブースプレゼン」、「展示（パネル・デモ・関連資料配布）」を実施します。また、併設会場にて IPA/SEC の取組みなどを解説する「IPA セミナー」を同時開催します。

「Embedded Technology West 2015 (ETWest 2015) /組込み総合技術展 関西」出展の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/events/20150610.html>

II. セキュリティセンター

1. 6月の呼びかけ「パソコン内のファイルを人質にとるランサムウェアご注意！」を公開

～メッセージが流暢な日本語になるなど国内流行の懸念～

(担当理事(本部長): 立石、担当センター長: 伊藤)

IPA は、情報セキュリティに関する 6 月の呼びかけを 6 月 1 日(月)に公開しました。呼びかけ内容は、以下のとおりです。

「パソコン内のファイルを人質にとるランサムウェアにご注意を！」

4 月に、IPA の情報セキュリティ安心相談窓口で「パソコンに『暗号化しました』というメッセージが表示されて、ファイルが開けなくなった」という相談の件数が増えました。

相談内容からランサムウェアの被害と推測されます。ランサムウェアとは、ファイルを暗号化して、そのファイルを復元するとして金銭を要求する不正プログラムの総称です。

IPA が 2014 年 10 月に実施した意識調査²において、ランサムウェアを知っている人は約 2 割という結果が出ています。今月の呼びかけでは、このランサムウェアについて、その手口と対策を紹介します。

6 月の呼びかけの詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/security/txt/2015/06outline.html>

² 2015 年 2 月 17 日発表「2014 年度 情報セキュリティの脅威に対する意識調査」
P31 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知
<http://www.ipa.go.jp/security/fy26/reports/ishiki/index.html>

2. 「情報セキュリティ EXPO[春]」へ出展

(担当理事(本部長)：立石、担当センター長：伊藤)

IPAは、5月13日(水)から3日間にわたり東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「第12回情報セキュリティ EXPO[春]」に出展し、情報セキュリティに関する最新情報とIPAの活動成果を広く紹介しました(リードエグジビションジャパン株式会社主催)。

本イベントは、IT系としては国内最大規模の展示会で、今年の総来場者数は、83,683名でした。セキュリティセンターはブースプレゼンテーションとパネル展示・デモによるブース出展を行い、多数の来場者に訪問いただきました(来場者アンケート集計数は3日間で10,639件となり、去年より約1,000件増加しました)。

IPAは今回の出展におけるアンケートでの意見などを今後の事業に活かすとともに、各種イベントへの出展などを継続的に行い、情報セキュリティの普及・啓発に努めます。

本イベントの詳細については、次のURLをご覧ください。

http://www.ipa.go.jp/security/announce/ist_expo2015.html

3. サイバー情報共有イニシアティブ(J-CSIP(ジェイシップ))2014年度 活動レポートを公開

(担当理事(本部長)：立石、担当センター長：伊藤)

IPAは、国内重要産業における標的型攻撃の情報共有の枠組みである「サイバー情報共有イニシアティブ」(J-CSIP3)の2014年度の情報共有の運用状況と活動レポート(2014年4月～2015年3月)をまとめ、5月27日(水)に公開しました。

IPAでは、参加組織から情報提供された939件の攻撃メールを分析した結果、同一と思われる攻撃者から国内9組織に対し、巧妙かつ執拗な攻撃が31か月も継続していることを確認し、詳細な分析を行いました。

2014年度は新たに13組織が参画し、全体で6業界59組織となりました。また、IPAは参加組織から626件(前年比162%)の不審なメール等の情報提供を受け、195件(前年比108%)の情報共有を実施するなど、順調に運用を継続拡大しています。

IPAは新たな業界のJ-CSIP参加を期待すると共に、情報共有活動を通し、国内重要産業における標的型サイバー攻撃に対する防御力の向上に資する活動を推進していきます。

「サイバー情報共有イニシアティブ(J-CSIP(ジェイシップ))2014年度 活動レポート」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/about/press/20150527.html>

³ J-CSIP: Initiative for Cyber Security Information Sharing Partnership of Japan。公的機関であるIPAを情報ハブ(集約点)の役割として、参加組織間で情報共有を行い、高度なサイバー攻撃対策に繋げていく取り組み。

4. 重要なセキュリティ情報 (5月)

(担当理事 (本部長) : 立石、担当センター長 : 伊藤)

IPAでは、インターネットを使っている多くの利用者が影響を受けるセキュリティ対策情報を対象に「重要なセキュリティ情報⁴」として公開しています。

「重要なセキュリティ情報」とは、放っておくと不正アクセスやデータが盗まれるなどの危険性が高いセキュリティ上の問題と対策についてお伝えするもので、IPA 情報発信では2013年12月より広く啓発するため記載しています。発信情報から、ご自身のPCやシステムへの影響を判断の上、速やかな対策を心がけてください。

5月は、「緊急」1件、「注意」4件を公開しました。

重要なセキュリティ情報の詳細については、次のURLをご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/security/announce/alert.html>

Ⅲ. ソフトウェア高信頼化センター (SEC)

1. 情報処理学会 情報規格調査会より「2014年度 国際規格開発賞」を受賞

(担当理事 (本部長) : 立石、担当所長 : 松本)

IPAは、4月20日(金)に国際規格策定に関し、IPAの専門委員の貢献が認められ、情報処理学会 情報規格調査会より「国際規格開発賞」を受賞しました。

国際規格開発賞は、情報処理分野における国際標準化に貢献した個人に対して授与されるもので、今回、IPAの新谷 勝利 専門委員が、国際規格ISO/IEC 33004 (プロセス参照モデル, プロセスアセスメントモデル及び組織成熟度モデルに関する要求事項)の策定に際し、プロジェクトエディタとしての活動が認められ、受賞・表彰されました。

今後もIPAは、安心なソフトウェア開発と国際競争力の向上を目指し、国際標準化の推進に取り組んでまいります。

受賞規格	ISO/IEC 33004 (First Edition) プロセス参照モデル, プロセスアセスメントモデル及び組織成熟度モデルに関する要求事項
受賞者	新谷 勝利 (IPA/SEC 専門委員)
国際規格番号	ISO/IEC 33004

⁴ 「重要なセキュリティ情報」は、次の基準で対策の緊急度を表しています。

「緊急」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報でかつ、当該問題を悪用した攻撃が実際に行われているケース。

「注意」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報又は、当該問題を悪用した攻撃が行われる可能性があるケース。

国際規格タイトル	Information technology — Process assessment — Requirements for process reference, process assessment and maturity models
国際規格発行日	2015年3月1日

2. 「第9回要求シンポジウム」を共催

(担当理事(本部長): 立石、担当所長: 松本)

IPAは、5月22日(金)にNTT DATA 駒場研修センター(東京都目黒区)にて、株式会社NTTデータ、富士通株式会社と共催で「第9回要求シンポジウム」を実施しました。

本シンポジウムでは、「要求が複雑化し、不確実性が高まっている昨今の情報システム開発における要求合意のヒントを、イノベーション⁵とモダナイゼーション⁶の両側面から探る」というテーマの下で、ユーザー企業のシステム部門の方々やベンダー企業の方々の取組みの紹介と議論を行いました。

当日は155名の方にご参加いただき、会場アンケートでは「イノベーションやモダナイゼーションについての新しい気付きがあった」、「事業に取り組む際の参考にしたい」といったご意見があった一方で、「イノベーションとモダナイゼーション自体の定義についても、もっと議論して欲しい」、「具体的な事例の紹介がもっと欲しい」などのご意見をいただきました。IPAでは、これらの意見・感想を活かし、今後もセミナー・イベント活動を継続していきます。

「第9回要求シンポジウム」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150522.html>

3. SECセミナー開催報告(5月)および開催案内(6月)

(担当理事(本部長): 立石、担当所長: 松本)

IPAは、事業成果を広く普及・啓発することを目的としたセミナー、ソフトウェア・エンジニアリングに関する国内外の最新動向などを紹介する特別セミナーをそれぞれ実施しています。

5月は、次の日程で実施しました。

- ・失敗から学ぶ組込みソフトウェア高信頼化のためのアプローチ法紹介
～製品・制御システム高信頼化部会2014年度成果報告～(5月18日)
(後援: 北陸先端科学技術大学院大学)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150518.html>

- ・第1回 定量的マネジメントセミナー(5月29日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150529.html>

⁵ 新技術や新しい仕組みなどを創造し、新たなビジネス価値を生み出すこと。

⁶ 既存の情報システムを改修する際、稼働中の資産(ソフトウェア・ハードウェア)を新しい製品や設計に置き換えること。

6月は、次の日程で開催を予定しています。

- ・ETWest2015 併催：IPA セミナー（6月10日、11日）

<http://www.ipa.go.jp/sec/seminar/20150610.html>

- ・【SEC 特別セミナー】システムベースのエンジニアリング最新動向
複雑化するシステムの安全性とセキュリティを確保するためにすべきこと！
（6月18日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150618.html>

- ・共通フレーム解説とプロセス改善推進セミナー
～ソフトウェア開発プロセスにおける組織の課題を見つけて改善するために～
（6月24日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150624.html>

- ・定量的なプロジェクト管理・プログラム管理
～見える化による生産性・信頼性の向上～（7月1日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150701.html>

IV. IT人材育成

1. 「セキュリティ・ミニキャンプ in 新潟」を共催

（担当理事（本部長）：田中、担当センター長：片岡）

IPAは、セキュリティ・キャンプ実施協議会と共同で「セキュリティ・ミニキャンプ in 新潟」を5月16日（土）・17日（日）の両日開催しました。

新潟県では初めての開催でしたが、NPO法人新潟情報セキュリティ協会や国立大学法人長岡技術科学大学のご協力を得て、一般講座と合宿講座の2講座を実施しました（一般講座参加者61名、合宿講座参加者18名）。

1日目の一般講座では、新潟県警察本部のサイバー犯罪対策の仕事、セキュリティ専門企業の事業活動などの講演を行いました。2日目の合宿講座では、お掃除ロボットや講師手づくりのミニチュアスマートハウスを使ったIoTのセキュリティを中心とした演習講義を行いました。

参加者からは、「セキュリティ人材の育成が急務であることが実感できた。」、「様々な講演を通して勉強になり、とても刺激的であった。」などの感想がありました。

「セキュリティ・ミニキャンプ in 新潟」の詳細については、次のURLをご覧ください。

http://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2015/minicamp2015_niigata.html

2. 「応用情報技術者試験」午後試験における出題構成の見直しについて

(担当理事(本部長)：田中、担当センター長：山城)

IPAは、国家試験「情報処理技術者試験」のうち「応用情報技術者試験」の午後試験について出題構成の見直しを実施し、IPAのウェブサイトで5月12日(火)に公表しました。

IPAでは、業務・役割が多様化する中において、IT人材をより適切に評価するため、受験者が自らの担当業務や専門性に応じて、午後試験における出題範囲の全分野から自由に問題を選択できる形式に変更し、解答数を1問減らしました。

【午後試験における見直しの内容】

(1) 選択問題の統合

ストラテジ分野とプログラミング分野の2分野から構成される選択問題と、ネットワーク分野、データベース分野、プロジェクトマネジメント分野など8分野から構成される選択問題を統合し、全10分野から構成される選択問題に変更。(※必須問題としている情報セキュリティ分野は、この選択問題には含まれない。)

(2) 選択問題の解答数を5問から4問に変更

全10分野から構成される選択問題の解答数を、これまでの5問から4問に変更。午後試験全体の試験時間を変更せず、1問あたりの解答時間を増加。

(3) 配点を20点に統一

各問題の配点を、これまで混在していた16点と20点の配点から、すべて20点に統一。

『「応用情報技術者試験」午後試験における出題構成の見直し』の詳細については、次のURLをご覧ください。

http://www.jitec.ipa.go.jp/1_04hanni_sukiru/_index_hanni_skill.html

3. 平成27年度春期情報処理技術者試験(基本情報技術者試験)の合格発表について

(担当理事(本部長)：田中、担当センター長：山城)

IPAは、平成27年度春期情報処理技術者試験(所管：経済産業省、4月19日(日)実施)のうち、基本情報技術者試験の合格者を5月18日(月)に発表しました。

応募者数、受験者数、合格者数等は以下のとおりです。

試験区分	応募者数	受験者数	合格者数	合格率(%) ※
基本情報技術者試験	65,570	46,874	12,174	26.0

※受験率=受験者数/応募者数、合格率=合格者数/受験者数

基本情報技術者試験の合格者に関する主な情報は以下のとおりです。

※無記入を除く

【社会人/学生別合格者数、合格率】

	合格者数	合格率 (%)
社会人	4,755	26.5
学生	4,598	25.9

【社会人勤務先別合格者数、合格率】

	合格者数	合格率 (%)
IT系企業	3,467	25.5
非IT系企業	1,288	29.9

各試験の統計に関する詳しい情報については、次の URL をご覧ください。

http://www.jitec.ipa.go.jp/1_07toukei/_index_toukei.html

問合せ先 独立行政法人 情報処理推進機構
戦略企画部 企画・調査G 笛木・中山
〒113-6591
東京都文京区本駒込二丁目 28 番 8 号
文京グリーンコートセンターオフィス
TEL:03-5978-7503
E-mail:spd-plan@ipa.go.jp